

## 理事会便り

### 第10期 第26回常任理事会議事録

日時 昭和39年5月27日 17.00~20.00  
 場所 如水会館  
 出席者 肥沼・岸保・磯野・正野・根本・神山・  
 桜庭・吉武・畠山・今井・松本・有住・淵  
 各理事 増田監事（順不同）

（注）第11期第1回の常任理事会にする予定であつたが理事長の選出に手間を要するので第10期と切りかえることとなった。

#### 決議

1. 理事長の選出は定款第14条の精神に則り便宜上書面による全理事の投票できめ、役員の仕事分担等は次回で正式にきめることとなった。

### 第11期 第1回常任理事会議事録

日時 昭和35年8月10日 17.00~20.00  
 場所 神田一ツ橋 学会会館  
 出席者 桜庭・磯野・吉武・岸保・松本・畠山・  
 正野・今井・根本・神山・有住・淵 各常  
 任理事（順序不同）  
 藤田・堀内・内海 各地方理事  
 増田監事（順序不同）

前回の決議に基き全理事による投票の結果正野12票・畠山7票・和達1票となり、理事長に正野重方氏が就任することとなった。

正野理事長の挨拶の後第1回常任理事会が開催された

#### 決議

1. 役員の仕事分担は次のとおりとすることとなった  
 庶務 淵・会計 吉武・外国 磯野・学会連合 畠山・集誌 桜庭・天気 有住・ノート 根本、神山・議演企画 今井・用語委員会、外国文献委員会の分はそのままとする。
2. 岡田賞候補者推薦委員会審査委員は  
 小平吉男 有住直介（幹事）  
 堀内剛二 今井一郎  
 の各氏とし、学会賞候補者推薦委員会審査委員は上記委員に沢田龍吉氏を加えることとなった。
3. 各種奨励金および賞等の推薦規定については担当理事（磯野・神山・淵）が早急に案をつくることとなった。

4. 原水爆実験に対する抗議の件は総会で常任理事会に一任されたので起草委員（神山・磯野・岸保）で至急案文を作成することとなった。  
 宛名はフランス首相とし、その写しをアカデミー気象学会々長、気象局長、世界科学連盟に出し、また天気同抗議文をのせることとなった。
5. 洋上における上高層観測については気象庁長官に要望書を提出し、その写しを次長、各部長へ出すこととなった。  
 なお、今後も続けてPRしてゆき、完成まで努力することとなった。
6. 新安保に関する研究会を6月16日10時から研修所東京教室で開くこととし、世話人は神山・今井・松本の三理事とし、各支部へも開催通知を出すこととなった。

### 第11期 第2回常任理事会議事録

日時 昭和35年7月7日 17.00~20.30  
 場所 神田一ツ橋 学会会館  
 出席者 今井・神山・根本・磯野・松本・有住・  
 岸保・吉武 各理事（順序不同）

#### 決議

1. 原水爆実験に対する抗議については前回の決議にもとずき原案は修正の上承認された。そのほん訳については外国委員磯野理事に引き継ぐこととなった
2. 数値予報国際シンポジウムに関し中共から返事があつたが、出欠がはっきりしないので理事長から再度出席方を要請する。
3. 同シンポジウム参加者の名前を含めた情報を「天気」に掲載し、同シンポジウムの国内出席者の申込葉書を天気に入れることとなった。
4. 今秋日中友交協会で学者を派遣するもようであるが、当学会からも出席を希望することを申入れ、またどのような条件がつくか松本理事が照会することとなった。
5. 秋季大会は11月17日（木）18日（金）19日（土）の三日間とすることとなった。  
 なお、気象研究所が主催になってもらうよう淵理事より申入れること。